

教科主義的  
発想

## 企画趣旨説明（香野）：知的障害教育の変遷！？

経験主義的  
発想

障害児教育のはじまり 盲ろう中心  
「通常の教育に準じる=同じ」  
小中学校で行われる教育内容を障害のある子どもに工夫して教  
えていく教育  
当然のことながら教科を主とした教育

学力（=テスト）偏重主義

教育も Evidence  
Based Practice（根  
拠ある実践）へ

特別支援教育が質を  
求める時代へ

生単中心教育への批判 質の低い授業の蔓延  
「活動あって学びなし」「何を学ばせているかが分かりに  
くい」「理念的には同意するが、実際の授業は・・・？」「目  
標設定が・評価が難しい」  
=授業づくりの難解さ

「新学力主義」生きる力としての教科  
合科的 生活テーマの取り込み

(知的)障害児への教育実践から出てきた反省  
「知的水準に内容が合っていない」「見せかけの教育」「教育は何のため  
に」「社会へ」  
障害児教育の独自性は？ 自立活動(養護・訓練)

養護学校の義務化  
障害の重度重複化・多様化

リアルな生活のなかで学ぶ教育へ  
合わせた指導(遊び、行事、作業・・・)  
日常生活の指導  
「本物の生活づくり」「現実度の高い生活」「できる状況づ  
くり」

果たしてどこに向かうのだろうか！？